

訪問ガイド 2026

Top of the Rock

ニューヨーク から 40.87€

https://topoftherock.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 料金



起源 & 歴史

ミッドタウンのアー・デコ象徴

GOOGLE 4.7 ★★★★★ 93 370 レビュー

TIQETS 4.6 ★★★★★ 1 670 レビュー

1931年から**1933**年にかけて建設されたコムキャスト・ビル（旧RCAビル）は、ニューヨークのアール・デコを代表する象徴的存在として知られています。 完成当時、すでに世界で最も高い超高層ビルであり、1930年までその称号を保持し続けた後、ライバルたちに抜かれた。 その独特な建築様式、すなわち尖塔や頂部を持たないデザインにより、ニューヨーク市民の間では「The Slab」（スラブ）という愛称で親しまれており、類を見ない刃のような鋭利な形状を強調している。 この建物は、ゼネラル・エレクトリックの傘下にあるラジオ・コーポレーション・オブ・アメリカ（RCA）のスタジオを収容するために設計され、その役割はアメリカのメディア史に深く根ざしている。 ここがNBCの本拠地となり、この場所はラジオおよびテレビ放送の真の聖域へと変貌を遂げた。 内部には、ジョン・D.が依頼した芸術的宝物が数多く収蔵されている。 ロックフェラー・ジュニア この複合施設を商業的かつ文化的な宝石にしたいと考えていた 建築的イノベーションは際立っています。この建物は、エレベーターを構造の中央に集約した最初の建物であり、当時としては革新的な設計で、空間と動線の最適化を実現しました。 このエンジニアリングは、都市建築の歴史に永続的な印を残した。 1985年、この建物は正式にランドマークとして指定され、地域の開発変遷に対してもその歴史的・芸術的完全性が厳格に保全されることとなった。 数十年にわたり、このビルの名称は通信大手企業とともに変化してきた。1988年から2015年まではGEビルディングと呼ばれ、現在はコムキャストビルディングとなっている。 これらの変更は、メディア業界の形を決定づけた合併や買収を反映しています。 それでもなお、この場所の魂は1933年のものである。建築的挑戦と芸術が融合し、世界中の訪問者を今も魅了し、インスピレーションを与える記念碑を創り上げた。

体験

> 入口から入った瞬間、プレステージとレトロモダンな雰囲気に包まれます。 高貴な素材である花崗岩とアルミニウムは、大きなガラス窓から差し込む自然光に包まれている。 上層階への昇りは、単なる垂直な移動にとどまらず、マンハッタンに対する新たな視点へと段階的に移行する過程である。 中央集約型エレベーターの相対的な静寂は、足元の下に広がる街の躍動するエネルギーと対照をなしている。 屋外のテラスにたどり着くと、息が詰まるほどです。 360度のパノラマビューは、他のタワーで見られるような歪みを排除し、極めて高い鮮明さを提供します。 エmпire State Buildingが目の前にあり、その細部までくっきりと見えます。また、セントラルパークの広大な緑も一望できます。それは五感をフルに刺激する体験であり、そよ風と遠くから聞こえる交通騒音が、都市の喧騒の只中に安らぎの泡を生み出している。 写真家にとって、ここは楽園である。夕方の低角度の光がアール・デコ様式の垂直なラインを際立たせ、洗練され力強い構図を生み出す。



訪問の準備

実用的な情報

住所

マンハッタン・メトロ: Times Sq - 42 St (Lx, Ly, B出口) または Rockefeller Ctr (N, W, U, 徒歩2分)。

営業時間

午前8時から深夜12時まで毎日営業。季節や特別なイベントに応じて、時間がわずかに異なる場合があります。

料金

42 $（約40.87 €）から。夕暮れ時間帯には追加料金が発生します。

滞在時間

3つの展望階と屋外テラスを存分に楽しむには、1時間15分から1時間30分ほどお時間をください。この時間なら、急ぐことなくエンパイア・ステート・ビルディングやセントラルパークの撮影角度を変えることができます。

写真撮影

屋外テラスを含むすべての場所で写真撮影が可能です。三脚は不要ですが、コンパクトなバックパックは持ち込み可能です。着色ガラスのない視界により、鮮明で忠実な画像が得られ、建築ディテールの撮影に最適です。

対象者

ファミリーやカップルに最適です。競合施設よりも空間が広々としており、お子様にも適しています。フォトグラファーは直接の自然光と、近隣の記念碑への特定の角度からのアクセスを気に入るでしょう。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

Subway

: 6th Avenue & 56th Street at Southeast Corner — 6 min à pied

Grand Central Station (8 min) · New York Penn Station (10 min)

Bus

: 6th Avenue & West 50th Street — 1 min à pied

Grand Central Station (11 min) · New York Penn Station (14 min)

Voiture

Grand Central Station (5 min) · New York Penn Station (8 min)

Citi Bike / Vélo

Grand Central Station (5 min) · New York Penn Station (9 min)

LOCALISATION

Où se trouve Top of the Rock ?



📍 30 Rockefeller Plaza — 10112 ニューヨーク

🌐 40°45.561′ N, 73°58.765′ O



組織

展望台の構造を理解する

0階（1階）

このフロアにはWelcome Galleryがあり、建物の歴史やロックフェラー・センターの背景を簡潔に紹介する教育的なスペースです。ディエゴ・リベラなど、内部装飾を手がけたアーティストに関する情報もご覧いただけます。ここはあなたの登頂の出発点であり、電子チケットの確認とセキュリティチェックを行います。

内部フロア（70階）

エレベーターを降りると、まず空調が完備された内部フロアにアクセスできます。これらのスペースは風から守られた眺望を提供し、建築の細部を観察したり、提供される双眼鏡を使用するのに最適です。各方向から見える記念碑について詳しく説明するパネルがあり、マンハッタンの象徴的な建物を特定するのを助けてくれます。

屋外テラス（70階、67階および68階）

この体験の中心は、天候条件に応じてアクセスできる3つの屋外テラスにあります。南側のテラスからはエмпire State Buildingを遮るものなく直接眺めることができます。その他の側からはセントラルパーク、ハドソン川、そしてロウアー・マンハッタンを鑑賞できます。ここは多様なアングルと最適な自然光のもとで写真撮影が最高潮に達する場所です。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス
バリアフリー対応のエレベーターとアクセシブルなテラスを通じて、すべての展望フロアにフルアクセス可能。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け
安全で広々とした環境は、あらゆる年齢のお子様連れのご家族に最適です。

🎧 オーディオガイド
フランス語, 英語, スペイン語, イタリア語, ドイツ語



必見スポット

選択

見逃せない観光スポット

01 南側テラス

エンパイア・ステート・ビルを間近に望む

ニューヨークで最も人気のある撮影スポットです。エンパイア・ステート・ビルとは異なり、ここでは隣接するタワーを正面から開けた視界で捉えることができます。至近距離にあるため、エンパイア・ステート・ビルのアーティスティックなディテールを驚くほど鮮明に撮影できます。ストリートフォトグラファーにとって外せない場所です。

> 💡 二つの塔の距離は非常に近く、ある訪問者はテラスを移動する際に風の音調が変わるのを聞いたと主張しています。これはこのような都市密度では稀な音響現象です。

02 プレミアム / VIPゾーン

ビーム体験

都市の上を浮遊しているかのような感覚を再現する没入型インスタレーション。プレミアムプランにしばしば関連付けられるものの、独特で眩暈を催すような視点を提供します。テクノロジーと感情を融合させ、都市の虚空への凝視に新たな次元をもたらします。

> 💡 多くの訪問者がこの体験を最も感情的に強烈なものとして表現しており、それは単なるパノラマビューを超え、高さを身体が直接知覚するためです。

03 テラスへのアクセス

SKYLIFT 屋外エレベーター

上層階へ向かうには、天候の影響を受ける屋外エレベーターを利用します。この透明な垂直上昇は、スピード感と高さを強調し、最終的なテラスに到着するまでの心地よい緊張感を演出します。

> 💡 エンジニアたちは、マンハッタンの最も強い風にも耐えられるようこのエレベーターを設計しました。これは目に見えませんが、強風の日の訪問者の安全にとって不可欠な技術的偉業です。

04 北東側テラス

セントラルパークの眺め

北と東に面したテラスからは、セントラルパークの広大な緑の長方形を見渡すことができます。マンハッタンの灰色の道路網との対比は圧倒的です。この街の都市計画を理解するには最適な場所です。

> 💡 晴天時には、公園内の主要な庭園を特定することができ、これは地元のガイドがグループを案内する際の定番の遊びとなっています。

05 LEE LAWRIE 主入口

リー・ローリーのレリーフ

上る前に、外側のアーティスティックな装飾を鑑賞してください。ウィリアム・ブレイクにインスピレーションを得た知恵の寓像を描いた主要なレリーフは、リー・ローリーによって制作されました。これらの作品は、建物の素朴な建築に豊かな物語性を加えています。

> 💡 ローリーはロックフェラーと長期間交渉し、より非伝統的な人物像を含めることを主張しました。公共芸術は単なる装飾ではなく、アクセス可能で深いものであるべきだという考えを擁護したのです。

06 BARRY FAULKNER 西側ファサード

モザイク『人類の知覚を覚醒させる』

この広大さは幅26メートル、高さ5メートルに及ぶこのモザイクは、100万枚のガラスエナメルタイルを使用しています。音の波を想起させ、建物がラジオの本社として機能していた元の役割を想起させます。これは1930年代のパブリックアートの傑作です。

> 💡 このモザイクの制作には数ヶ月かけて数百人の作業員が動員され、当時としては巨大なプロジェクトであり、建物の開業を遅らせる寸前でした。

07 外観 / 全景

夜の劇的照明

夜、コムキャスト・ビルの黒とベージュの装飾は、洗練された劇的照明によって引き立てられています。この照明は垂直なラインや段差を際立たせ、夜空に威厳のあるシルエットを生み出します。夜の都市写真撮影に最適です。

> 💡 現在の照明は、視覚的なインパクトを保ちながら光害を軽減するために何度も再調整されており、美と生態学の間の微妙な妥協点となっています。

08 DIEGO RIVERA 玄関ホール

ディエゴ・リベラによるフレスコ画

上階から一部のフレスコ画は見えにくいものの、このホールにはリベラの代表作である『物質宇宙の知的支配』などが収められており、これらの壁画はロックフェラーの文化的野心を物語っている。

> 💡 リベラは当初、共産主義への言及をさらに多く含める予定だったが、ロックフェラーが交渉して一部の表現を和らげさせた。それでもなおレニンに似た人物像が残されており、今日まで議論の対象となっている。

アドバイス

最上階での滞在を最適化

タイミング

必ず具体的な時間帯の枠を予約してください。時間指定入場制度により混雑が抑制されていますが、観光客のピークタイム（11時～14時）を避けると、より少ない人出の中で快適に撮影条件の良い環境を楽しめます。

チケット

夕日観賞の特別料金を確認してください。通常、16時から18時の間に追加料金が発生します。黄金の光を狙う場合、この追加予算は得られる画像の品質によってしばしば正当化されます。

見学ルート

まず南側のテラスから始まり、混雑が集中する前にエンパイア・ステート・ビルディングを構図に収めてください。その後、他の方向も探索してください。3階層と各テラスをゆっくり見学するには、1時間15分から1時間30分を確保してください。

写真

ESBの障害物のないクローズアップショットには、南側のテラスを使用してください。広角の風景撮影には、テラスの隅に位置取りましょう。夕方の低角度の光は、Comcast Building自体のアーティスティック・デコ風のディテールを際立たせ、興味深い反射を生み出します。

休憩

展望台の内部にはレストランはありません。登る前または後、ザ・スタンダード・グリルやロックフェラー・センター内の数多くのカフェでコーヒーブレイクや食事をお楽しみください。他の訪問者に配慮し、屋外テラスでの食事は避けてください。

子ども

空間は広々として安全で、家族連れに最適です。子どもたちは屋外のエレベーター「SKYLIFT」を気に入るでしょう。手すりの近くにいるよう注意し、興味を持続させるためにランドマーク（ESB、セントラルパーク）について説明してください。

オーディオガイド

オーディオガイドはフランス語で利用可能であり、建物の歴史と見どころをカバーしています。歴史的・建築的な背景を理解するのに役立ちます。特に一人で訪問する場合に便利です。受付窓口でイヤホンの在庫を確認してください。

快適さ

夏でも、高所では風が涼しく感じられることがあります。軽いジャケットをお持ちください。荷物預け所がないため、コンパクトなバックパックをおすすめします。山頂への登攀前に施設内を移動するため、履き心地の良い靴が必要です。


TOP OF THE ROCK
OBSERVATION DECK

よくある質問

よくある質問

Top of the Rockの入場には時間枠の予約が必要ですか？

はい、展望台への入場には時間枠の予約が必須です。定時入場制により混雑を管理し、長い待ち時間を避けることができます。入場はこのスロットに厳密に制限されるため、時間を正確に選択することをお勧めします。

なぜ夕暮れのチケットは高くなるのですか？

一日の終わりの時間帯（通常16時から18時頃）には、黄金の光に対する需要が高いため、特別料金が発生します。このオプションはフォトグラファーに非常に人気があります。予想外の事態を避けるため、時間帯を選択する際に表示されている価格を確認してください。

天気が曇っている場合はどうなりますか？

視界は天候に直接依存します。購入したチケットの種類に応じて、延期ポリシーが存在します。厚い雲で景色が遮られている場合、訪問を延期できることがあります。購入前に、ご自身のプランの条件と規約をご確認ください。

チケットのキャンセルや変更は可能ですか？

柔軟性は購入時に選択したプランによって異なります。一部のオプションでは、24時間前までの無料の変更が可能ですが、他のものは返金不可の場合もあります。正確な権利を知るために、確認画面の「条件」セクションを注意深くご確認ください。

ニューヨークで最も素晴らしいパノラマビューはどこですか？

Top of the Rockは、エンパイア・ステート・ビルディングとセントラルパークへの最高の正面からの視点を提供します。他のタワーとは異なり、ここではミッドタウンの象徴的な建物に対して対称的な正面の視点を得られます。これは、その鮮明さゆえに都市写真のプロフェッショナルが好むアングルです。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

ニックネーム「ザ・スラブ」

ニューヨーカーはこの建物を、クライラー・ビルディングのような古典的なアールデコ風の尖塔とは全く異なる、平らで細長い形状から「ザ・スラブ」（板状の建物）と呼んでいます。このニックネームは、当時の慣習に挑戦した1933年に完成した独自の建築様式を強調しています。また、「30ロック」とも知られており、これはロックフェラー・プラザ30番地の住所と、NBCが制作した有名なシットコムへのオマージュです。

中央エレベーターの革新

1933年、コンキャスト・ビルディングは重大な革新を導入しました。それは、建物の中心部にエレベーターを集中配置するというものです。それ以前は、エレベーターは多くの場合、建物の側面に設置されていました。この設計により、オフィス空間の最適化が実現し、その後の高層建築の設計に影響を与えました。これは、垂直方向のデザインにおける空間効率性の先駆的な例です。

NBCメディアの遺産

この建物は常にメディアと結びついてきた。当初はRCAが賃借し、その後ゼネラル・エレクトリック傘下のNBCが入居した。このメディアの存在がこの場所のイメージを形作り、テレビおよびラジオ制作の象徴となった。今日ではスタジオは変わっているものの、その歴史やアイデンティティにおいて、建物のメディア的DNAは依然として感じ取ることができる。

ランドマークの指定

1985年にロックフェラー・センターの一部としてランドマークに指定されたコンキャスト・ビルディングは、厳格な保護の対象となっています。これは、外観に関するすべての変更が歴史的建造物管理当局の承認を得なければならないことを意味します。この指定により、アーティスティック・デコ（アール・デコ）様式の建築的完全性が将来の世代のために保全され、過度に侵入的な近代的改変から建物が守られています。

博物館周辺

ロックフェラー・センターの中心に位置するトップ・オブ・ザ・ロックは、ミッドタウンを探索するのに最適な戦略的な立地を誇っています。 すぐ下には、通年を通じて家族連れを魅了する有名なスケートリンクがあり、徒歩数分の距離にあるグッゲンハイム美術館は、その有機的な形態で建築的な対比を際立たせている。 美食のひとときを過ごしたいなら、**The Standard Grill**では、洗練された空間でモダンアメリカン料理をお楽しみいただけます。 自然の中での散策をさらに楽しみたい方は、セントラルパークサウスが徒歩圏内にあり、都市のスカイラインから公園の木立に囲まれた遊歩道へとシームレスに移行できます。 最後に、荘厳なセントをぜひお見逃しなく。 ゴシック様式のシルエットがフィフスアベニューを支配するパトリック大聖堂は、タイムズスクエアの近くで独特な歴史的ランドマークを提供している。



トップ・オブ・ザ・ロックを去るとき、それは永遠に記憶に刻まれたイメージを胸に抱いて離れることになります。これは単なる眺めではなく、ニューヨークの壮大さに対する啓示です。日の出の時であれ、夕暮れの時であれ、この体験は忘れがたいものです。都市がまるで自分だけのもののように感じられる、時が止まったような瞬間です。